

今日から 10 月となりました。一年の 4 分の 3 が過ぎてしまいました。
新型コロナの影響で、様々な行事や行動が制限され、今まで経験したことの無い
日常を過ごさざるを得ない状況が続いています。長いトンネルの出口の明かり
は未だ見えず、手探りで前進していくしかありません。
トンネルを抜けた後の世界を想像し、時々には楽しいことも織り交ぜながら、この
後の秋・冬に備えていきたいと思えます。

さて、関口会員が桜町病院から、24 日に退院されご自宅に戻られました。
昨日お伺いして参りましたが、デイサービスにも行かれたとのことで、順調に回
復されているご様子でした。近々自宅から、zoom で参加していただけるとのお
話でした。本当に安心いたしました。

さて、今日 10 月 1 日は「十五夜」「仲秋の名月」です。
天気予報では、午後から晴れてお月様もよく見えるとのこと。

「仲秋の名月」とは、旧暦 8 月 15 日の十五夜にお月見をするならわしです。
旧暦では 7 月を「初秋」、8 月を「仲秋」、9 月を「晩秋」と言いました。
台風や雨の多い時期を過ぎ、徐々に空気も冷たくなり、空が高く、月もきれいに
見えるので「仲秋の名月」と呼ばれるようになったそうです。

お月見にはお供えをするのがならわしです。

「ススキ」 秋の七草の一つで、稲穂に似ていて、魔除けになるとの理由とのこと。

「月見団子」 団子を月に見立て、感謝の気持ちを表すそうです。

団子の数は十五夜なら 15 個。ピラミッドのように積んで供えます。

これは一番上の団子が霊界との懸け橋になると考えられていたからだそ
うです。

「農作物」 里芋、栗、枝豆など収穫されたばかりの農作物を供え、豊作に感謝してい
たようです。

当店でも「月見団子」を販売しておりますので、今晚の「仲秋の名月」を風流にお楽
しみいただくというのはいかがでしょうか。

お店でお待ちしております。

会長の時間は以上とさせていただきます。